

阿蘇シンポジウム感想文

○今回のシンポジウムは、その言葉から想像するそれとは大きく異なるものでした。会場の雰囲気は非常にフランクでありましたが、同時に厳粛でもありました。講演される内容はハイレベル、飛び交う質問は鋭く議論は活発でしたが、夜の懇親会では打って変わって、皆さん和気藹々と楽しまれました。一流であるということは、物事の二面性を上手く使い分けることなのだ、と深く考えさせられました。

最先端の研究内容が発表されるため、シンポジウムの内容をきちんと理解する事は非常に難しく、自分の無知、非力を思い知りました。しかし事前の勉強会で三年次の科目を先取りできたこと、そしてそのような滅多に知り得ない研究内容に触れられた事は、今後の学生生活で、そして自分の進路を考える上で非常に有益でした。また参加した学生同士の絆もこの一泊二日でより深まり、夏の思い出として心に残るものとなりました。

今回このような機会を与えていただいたことを非常に嬉しく思います。阿蘇の自然とホテルの温泉を満喫しきれなかったのがやや心残りですが、来年以降も同じ時期、同じ場所で行われるということですので、来年もまたぜひ参加させていただきます。(尾鶴)

○今回の阿蘇シンポジウムは免疫学がテーマということで、以前から免疫学に興味があったので、とても楽しみでした。事前に勉強会も行っていただき、免疫学のアウトラインを知った上で、参加しましたが、内容はとても難しかったのですべて理解するということはとても困難でした。しかし、今回のシンポジウム参加の目標を第一線の研究者の方達の研究に対する熱意を感じ取ろうということにしていたので、それは十分に達成できたと思います。また、質疑応答の時間に演者の方達の活発な議論に驚かされました。私は、将来研究をしようと思っているので、今回このような機会に恵まれ将来に対する漠然としたイメージを作ることができました。今回このシンポジウムに参加したことは、とても意義深く、学ぶことはもちろん多くありましたが、それとは別に、その研究に至った経緯やなぜそのようなアプローチを行ったか等普段の講義ではなかなか聞くことのできないこともたくさん聞け、とても良い経験となりました。(白根)

○私が参加しようと思った理由は、最先端の先生方の研究に触れてみたいと思ったからです。今回のシンポジウムのテーマは免疫で、大学では軽くしか習っていない範囲だったので、事前に参加者で集まって勉強会を開いていただきました。最初は専門用語がわからないというところでしたが、本を読んだりするうちに、なんとなくつかめてきました。このように予習して、実際シンポジウムに参加しても、やはり理解できずにボーッとすることもありましたが、なんとなく内容は理解できる範囲で、これが応用なのだ改めて感じ、研究を意識しました。実験内容の説明がありましたが、まったく理解できず、い

つか自分もこういうグラフを読んだりするのだと思い、また研究には想像力、応用力、発想、そしてなにより地道な努力が大切なのだと思います。良いチャンスでした。

また、驚いたことに、夜は豪華な立食パーティでした。お腹いっぱいおいしいものを食べ、一緒に参加した友だちとお酒を飲みながらいろいろと話したりして楽しい時間を過ごしました。

専門の授業科目の試験前に免疫の勉強会があったりと、中々大変でしたが、阿蘇というすばらしい環境の中、設備の整ったホテルでこのように先生方の話を聞けて、本当に良かったです。今は、もっと勉強していけば良かったと後悔しています。来年もぜひ参加したいと思います。(永井)